

中小企業診断士が同行訪問

経営支援の能力向上

全東栄 三月まで集中的に

全東栄信用組合(浅沼博 使って勉強会を催し能力育 理事長、本店・千代田区、 成に努めてきたが、数年前 預金175億円)は渉外の経 まで同信組に在籍し顧客の 営支援能力を高めるため、 特性や営業手法についての 元職員の若手中小企業診断 確な理解をもち、渉外と年 士(30代後半)と契約し、 代が近く忌憚のない質疑が 五月から各店で同行訪問を 行える若手診断士を活用す 行い、決算書分析や課題解 ることで、より同信組の実 決手法について学びスキル 情に合わせた研修を行いさ らなるスキル向上を目ざす アップに取り組んでいる。

これまでも都信協が行う 考えた。 研修ではOJTによる実 務研修を積極的に実施。一 月か月に一日、一店舗で渉外 役員・渉外係と「経営改善 意欲のある取引先二社」を 選定し、同行訪問。訪問後 には必ず質疑の時間を設 け、疑問の解決やノウハウ の共有に努めており、毎回 活発なディスカッションが 行われている。

すでに六月までに本店・ 三筋町・世田谷の三店舗で 研修を実施。来年三月まで に全十か店で行うこととな っている。

「取引先の経営改善に少 しても役立てれば、そのた